

# 業種別生産性向上 プログラム (研究開発サービス業 抜粋)

平成20年4月30日

経済産業省

「業種別生産性向上プログラム」は、11業種(小売業、情報サービス業、研究開発サービス業、認証サービス業、プラントエンジニアリング業、プラントメンテナンス業、総合商社、対個人サービス業、業務プロセスアウトソーシング業、環境装置のサービスサイジング業、自動車販売業)について、生産性向上のための短期的・中長期的な取組をまとめたものです。

### 3. 研究開発サービス業

#### (1) 総論

研究開発サービス業の生産性向上は、研究開発サービス業にとっての課題であるだけでなく、これを利用する顧客産業の競争力の維持・向上にとっても重要な課題として認識されている。

研究開発サービス業の生産性向上のためには、投入した研究開発コストに対して、より質の高い研究成果をあげることが必要であり、今後、個々の事業者が高品質化、高効率化に向けた様々な取組を推進することにより、業界全体の生産性の水準を上げていく必要がある。

#### (2) 政策としての取組

##### 統計の整備

今後、研究開発サービス業の生産性向上のための取組むべき方策を検討する際の基礎とするためにも、産業実態についての適切な把握が必要であり、研究開発サービス業に関する統計整備に向けた検討を進める。

##### 各種規制・基準についての点検

研究開発サービス業の国内外におけるビジネス展開、生産性向上の障壁となりうる請負労働における共同作業制限、検査分析サービスに係る国内基準の国際整合性について、その運用状況を点検し、今後の対応の在り方について検討する。

##### 研究開発サービスの見える化・取引のオープン化の推進

研究開発をより生産性の高い事業者にシフトさせるオープンイノベーション戦略は、我が国全体の研究開発の生産性向上に寄与すると考えられる。しかし、研究開発サービスの品質等に関する情報が第三者にも客観的に利用可能な状態となっていないため、現状では研究開発サービスのオープンな取引、取引のメッシュ化は進展しているとは言えない状況である。したがって、オープン取引環境を実現する観点から、研究開発サービスの品質等の見える化のためのモデル指標の整備、さらにモデル指標を活用したオープン取引のためのプラットフォームとしてのモデル整備に向けて取り組んでいく。

##### サービス生産性指標の整備

我が国の研究開発サービス業の生産性が欧米に比して低いというデータも存在するが、その利用データの範囲等に差異があることも踏まえ、国際的にも比較可能な研究開発サービス業の生産性指標の整備に向けて取り組んでいく。

##### サービス・イノベーションへの挑戦に対する支援

研究開発サービス業はその科学的・工学的知見、ノウハウを活かして、小売や運輸等他のサービス産業の生産性向上に寄与することが期待できる。

したがって、小売や運輸等他のサービス産業との連携・融合によるサービス・イノベーションのための研究開発について支援の充実を図る。

### 研究開発サービス業の発展に向けた横断的課題への対応

研究開発サービス業は萌芽的産業であるため、取引慣行の確立、人材育成の在り方など研究開発サービスを巡る横断的な諸課題の解決に向けて産学官が連携して取り組んでいく。

## 業種別生産性向上プログラム（工程表）

業種	取組の方向性	No.	具体的取組	短期 (平成20年度中)	中長期
研究開発サービス	統計の整備	1	研究開発サービス業に関する統計整備に向けた検討を進める。	研究開発サービス業の定義及びその実態の把握等について検討及び調査を行う。	研究開発サービス業に係る統計の整備を図る。
	各種規制・基準についての点検	2	研究開発サービス業の国内外におけるビジネス展開、生産性向上の障壁となりうる請負労働における共同作業制限、検査分析サービスに係る国内基準の国際整合性について、その運用状況を点検し、今後の対応の在り方について検討する。	研究開発サービスに係る各種規制・基準について問題等の洗い出し等調査を行う。	必要に応じ、研究開発サービスに係る各種規制・基準の見直しを行う。
	研究開発サービスの見える化・取引のオープン化の推進	3	研究開発サービスの品質等の見える化のためのモデル指標の整備、オープン取引のためのプラットフォームのモデル整備に向けて取り組んでいく。	研究開発サービスの品質を客観的に計測することができる指標の策定及び守秘義務や知財帰属に関する一定のルールを設けたインターネット上の研究開発サービス需給マッチング市場（「電子プラットフォーム」）を開発する。	「電子プラットフォーム」の自立化を図り、研究開発サービス仲介業者の育成と研究開発サービス取引市場の確立を期す。
	サービス生産性指標の整備	4	国際的にも比較可能な研究開発サービス業の生産性指標の整備に向けて取り組んでいく。	研究開発サービス業に適した生産性を計測する指標の開発調査を行う。	研究開発サービス業に係る指標の整備を図る。
	サービス・イノベーションへの挑戦に対する支援	5	小売や運輸等のサービス業との連携・融合によるサービス・イノベーションのための研究開発について支援の拡充を図る。	(独)産業技術総合研究所サービス工学研究センターにおける研究実証事業等を実施する。「サービス工学分野技術戦略マップ」を引き続き充実する。	研究開発サービス業のノウハウを活用してサービス・イノベーションの促進を図る。
	研究開発サービス業の発展に向けた横断的課題への対応	6	取引慣行の確立、人材育成の在り方など研究開発サービスを巡る横断的な諸課題の解決に向けて産学官が連携して取り組んでいく。	研究開発サービスの今後等について検討する研究会を産学官が連携して設置する。	研究開発サービスの発展を図る。